

交流の日『介護保険ってなあに？』

帰国者の方たちも高齢化が進み、介護保険が身近なものとなりつつあります。

今回、介護サービスに対する理解を深めていただくために研修会を行いました。

おひとり、おひとり、状況が異なり言葉の不安を抱える中、熱心にメモを取っておられました。また、申請方法や利用料金等についての質問も続き、有意義なひとときとなりました。



交流日『何谓介護保険？』

随着归国者们也日趋高龄化，介護保険已逐渐成为切身课题。

此次，为了使大家对介護服务加深了解，举办了研修会。

大家各自的状况迥然不同，却都抱着在语言方面的不安，热心地记着笔记。还纷纷询问了申请方法和利用费用等问题，渡过了非常有意义的时间。

(平成27年11月27日)



交流の日『認知症ってどういう病気？』

12月は認知症についての研修会を行いました。長く福祉の現場に携わってきた当センター職員からの説明に、最初は「認知症ってなんですか？」と質問される方もおられましたが、4人に1人は発症すると聞いて、大変関心が高く帰国者の方の「自己判断はしないで、病院に行きましょう」との声に皆さん納得。

今後も、今回のテーマに関連する研修会を定期的に実施し、正しい理解をしていただけるようにと思っています。



一言も聞きもらすまいと真剣にメモを取っています / 绝不漏掉一字一句认真地记录

交流日『什么是认知症？』

在12月举办了有关认知症的研修会。对于曾经长期活跃在福祉工作第一线的本中心职员的讲解，开始时还有人提问「认知症是什么意思呀？」当听到四人中就有一人发病时，引起了大家高度关注，对于「自己不要妄加判断，一定要及时就医」的建议，大家都一致赞同。

今后也将定期实施与此次内容相关的研修会，希望大家能够正确地理解认知症。

(平成27年12月21日)

交流事業「和食に挑戦しました」

ボランティアの方々にご指導をいただきながら、お正月が近いということで「チキンロール」、酢飯料理を作りたいとの希望で「いなり」、そして「お吸い物」の三種類の料理に挑戦しました。帰国者の皆さんから「美味しい」の声とともに「家でも作ってみたい」「鶏肉は苦手だったが、チキンロールはとても美味しかった」「中国に帰った時に日本の料理を伝えたい」などうれしい言葉が続きました。



さすが現役主婦の皆さん、仕事が早い！
不愧是现役主妇们，手脚利落！

交流活动「挑战做日本料理」

因为临近新年，在志愿者各位的指导下，挑战了做「鸡肉蔬菜卷」，为满足大家想做醋饭料理的愿望还尝试做了「稻荷寿司」和「日式汤」三种料理。在听到「好吃」赞声的同时还听到大家频频发出「在家里也想尝试做一下」「虽然不太喜欢吃鸡肉但鸡肉蔬菜卷非常好吃」「回中国时也想把日本料理传授给国内的亲朋好友」等令人欣慰的感想。

(平成27年12月25日)



マイ帽子で
参加です♪
戴上自己的厨师帽来参加♪

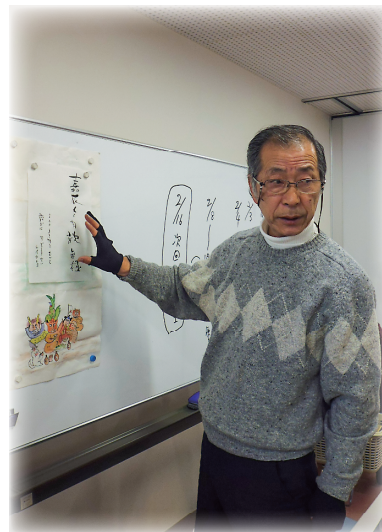
チキンロールの照り焼きに『美味しくな～れ！』
给鸡肉蔬菜卷挂糖上色「快快好吃起来～～！」

交流事業「絵手紙で心の交流を」

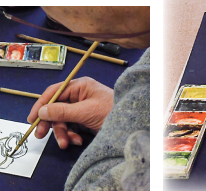
及川先生のご指導のもと、絵手紙教室には現在6人が受講しています。

先生は様々な題材を鮮やかな筆さばきで、あっという間に描かれ、帰国者の皆さんはその魅力に引きこまれてしまいました。

「上手く書こうとしなくていいんだよ。下手でいいんだから」と、絵手紙を通じて心のぬくもりが伝わることが大事なのだと言っておられました。



ひとふてひとふて おも
一筆一筆に想いをのせて
大切なあの方へとどけます
一筆一划寄托深情
寄给敬爱的人



交流活动「用画信传递心意」

现在，画信教室有六名听讲者在及川老师的指导下学习画信。

老师以其高超的运笔技巧转瞬间描绘出各种各样的题材，使归国者们无不为之倾倒。

老师还经常鼓励大家「不好没关系。不好才是最好」，通过画信向对方传递真情才是最重要的。